



**クイズ第2回：もっと知りたい！
「データで学ぶ『新・人間革命』」Vol.1**

山本伸一が沖縄を初訪問したのは
1960（昭和35）年7月何日？

- ① 7月3日
- ② 7月16日
- ③ 7月17日

出題箇所 第2巻<先駆>

ヒントは『データで学ぶ「新・人間革命」』Vol.1 p.64-65



山本伸一が沖縄を初訪問したのは 1960（昭和35）年7月何日？

① 7月3日

② 7月16日

③ 7月17日

1960年5月3日の会長就任から約2ヶ月後となる7月16日、伸一は沖縄を訪問します。当時沖縄はアメリカの施政権下であり、パスポートが必要でした。「3日で3年分は働くからね」そう語った伸一は、地区の結成をはじめ、多くのメンバーに直接会い、激励を重ねます。そして訪問から3日目には、太平洋戦争の激戦地・南部戦跡を訪れ、深い祈りを捧げ、“この沖縄を幸福島に！”と強く心に誓います。

1952（昭和27）年に結成された女子部の人材育成グループ「華陽会」。そこに込められた願いとは、「華のように美しく●●のように誇り高くあれ」。●●に入る言葉は？

① 大樹

② 太陽

③ 太平洋

出題箇所 第2巻<錬磨>

ヒントは『データで学ぶ「新・人間革命」』Vol.1 p.78



1952（昭和27）年に結成された女子部の人材育成グループ「華陽会」。そこに込められた願いとは、「華のように美しく ●●のように誇り高くあれ」。●●に入る言葉は？

① 大樹

② 太陽

③ 太平洋

1952年、山本伸一の恩師・戸田城聖第二代会長が自ら青年を育てるため、人材育成グループを結成。古今東西の名著を教材とした読書会などを通して薰陶していきます。男子部は水滸会、女子部は「華のように美しく 太陽のように誇り高くあれ」との願いから華陽会と名付けられ、今もその精神は脈々と受け継がれています。

小説『新・人間革命』の執筆が開始された場所は？

- ① 沖縄
- ② 長野
- ③ 東京

出題箇所 第2巻<勇舞>

ヒントは『データで学ぶ「新・人間革命」』Vol.1 p.84



小説『新・人間革命』の執筆が開始された場所は？

- ① 沖縄
- ② 長野
- ③ 東京

小説『新・人間革命』の執筆が開始されたのは、1993（平成5）年8月6日、長野県軽井沢においてです。長野は、恩師・戸田第二代会長が逝去する前年（1957年）、最後の夏を過ごした思い出の地でもあります。この時の会話のなかで、伸一は「先生の真実を記すことができるのは、私しかいない」との使命を自覚し、恩師の伝記ともいうべき小説執筆の決意を固めます。

伸一が、子どもたちの学習意欲を引き出すために、 家庭のなかで工夫したことは？

①いつでも本を見たり読んだりできる

② おこづかいをもらえる

③ お菓子を自由に食べられる



出題箇所 第2巻<民衆の旗>

ヒントは『データで学ぶ「新・人間革命」』Vol.1 p.94

伸一が、子どもたちの学習意欲を引き出すために、 家庭のなかで工夫したことは？

- ①いつでも本を見たり読んだりできる
- ② おこづかいをもらえる
- ③ お菓子を自由に食べられる

「民衆の旗」の章では、山本家の子育てについて具体的に描かれています。たとえば伸一は、子どもたちが本への興味を持てるよう書棚の扉を取り外し、本の背表紙が見えるようにしたり、貴重な名曲のレコードも自由に聴けるようにしたりしました。日常生活のなかで、読書や音楽に親しむための工夫を心がけていたのです。